

封戸の風景「立石から望む宇佐平野」



封戸は国東半島の入口に位置し、のどかな田園風景が広がっています



このコーナーでは、小学校区単位（地区）でまとまって地域活動に取り組む「地域コミュニティ組織」をご紹介します。



封戸地区まちづくり協議会

みんなでつくろう 緑豊かで安全なまち 封戸

まちづくりについて勉強



封戸地区まちづくり協議会は、PTAのOBや消防団員など若い人が強い絆のもとで活動を行っており、他の地区にはない「農業部会」を組織するなど独自の活動ができるよう準備を進めています。また、伝統の継承と交流の場を創出しようと小学校で行う合同盆踊り大会にも力を入れています。今年は協議会設立後、初めての大会であったため、

未来へ続く

まちづくりを目指して

活動の一部をご紹介します

運動会で披露しました!



盛大に行えるよう6月からそろいの法被を製作し、口説きや子どもたちの踊りの練習などに励んできました。残念ながら、大会は中止となりましたが、小学校の運動会で子どもたちの法被姿を披露することができました。

設立間もない協議会ですが、今後も地区のみなさんが安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

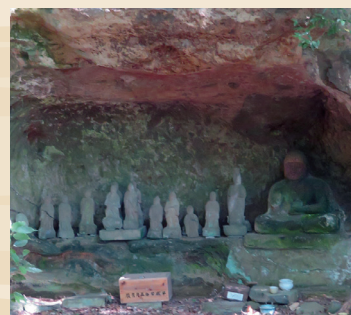


会長
大園さん

封戸の散策
おすすめスポット

後山金剛寺（後山岩屋）

六郷満山本山本寺の1つである金剛寺の薬師堂には、戦国期から江戸時代初期の薬師像、その横に十二神将の石像が一行に安置されています。近くには二基の宝篋印塔ほうきょういんとうが立っています。正確な創建時期については分かりませんが、中世から近世の記録資料や伝承が残されており往時の状況を伝えています。



問合せ／まちづくり推進課 コミュニティ係（☎ 27-8237）

宇佐神宮を紹介するとき、全国に4万社ある八幡さまの総本宮とよく言いますが、なぜそうなったのか、3回にわたりお話しします。

743年、聖武天皇は大地震の発生、天然痘の大流行、相次ぐ政争など世の中の乱れを仏の力で治めようと、大仏造立の詔（みことり）を出します。しかし、大仏造立という国家事業は困難を極め「日本は神の国なのに仏に頼るからだ」など批判の声が出始めます。

そのようなとき、宇佐地方の神である八幡神から《八百万の神を率いて必ず成功させる》大仏に塗る金は国内から必ず出る《といった内容の託宣が届きます。隼人の乱や藤原広嗣の乱の鎮圧で実績のある八幡神からの託宣に聖武天皇は大喜びします。しかも、実際に陸奥国から

金が献上されたため、都での八幡神人気は一気に高まります。

さらに、大仏の完成が近づくと、八幡神は《自ら上京し大仏と対面する》と託宣。孝謙天皇に譲位した聖武太上天皇は、梨原宮を造り神仏習合の神として八幡神を迎えます。大仏完成後は東大寺の近くの手向山八幡宮に鎮座し、大仏の守護神となりました。一地方の八幡神が国家神へと駆け上った瞬間です。東大寺に八幡神が祭られると、薬師寺など他の大寺院からも守護神として勧請（かんじよう）されるようになります。

次回、石清水八幡宮についてご紹介します。



手向山八幡宮（奈良県）

平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは「宇佐市平和ミュージアム（仮称）資料館」の開館に向け、これまで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

41 雑誌「キング」附録 世界地図

大衆娯楽雑誌「キング」昭和8年1月号付録の世界地図です。「キング」は大正14年創刊、大日本雄弁会講談社（現・講談社）が刊行した雑誌で、発行部数100万部を突破するほどの人気がありました。この地図では当時の状況を反映し、台湾や朝鮮、南樺太・千島列島が日本の領土として表示されています。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）